



経隆 悠 Tsunetaka Haruka
森林防災研究領域

近年、台風や線状降水帯によって豪雨が頻発しています。これらの豪雨によって山地斜面が崩れ、日本各地で土砂災害が発生しています。このような災害は広範囲で被害を引き起こすため、事前の対策だけでは全ての危険に対処することは困難です。よって、人命を救うには、予想される雨量から斜面が崩れるかどうかを事前に予知し、住民に避難を促すことが重要です。この危険な雨の判定には、何らかの雨の基準値が必要です。しかし、災害は短時間に強い雨が降る集中豪雨や長時間の弱い雨の継続など、異なる雨の降り方で発生することが多く、危険な雨を判定するための基準値の設定方法には、未だに共通の見解が得られていません。

今回、何年に一度の強さの雨が土砂災害を引き起こすのかに着目しました。すると、災害が発生するまでの雨の降り方は様々ですが、災害発生時の雨の強さは、多くの災害事例で100年に一度程度と

土砂災害を引き起こす 雨の降り方に隠された共通点

共通の特徴があることがわかりました。雨が100年に一度の強さに達するかどうか、災害の発生危険性を判定する上で重要な情報となるのです。100年に一度の雨の強さは、地域毎に大きく異なります。この地域毎の雨の違いを活用して、みなさまのお住まいの地域に適した、危険な雨の高精度な判定手法の開発を目指しています。

2022年8月 動画開催より



平成29年7月九州北部豪雨(福岡県朝倉市)〈左〉と、平成30年7月豪雨(広島県東広島市)〈右〉で発生した斜面崩壊を上空から撮影した写真。これらの豪雨は、雨の降り方は大きく異なるが、崩壊発生時の雨は共通して100年に一度程度の強さだった。

令和4年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園での実開催とYouTube「森林総研チャンネル」での動画公開を予定しております。動画公開分は遠方の方でもご覧になれますのでお楽しみに！

動画公開

1月公開予定

「乾燥に強いスギをみきわめる」

高島 有哉 (林木育種センター関西育種場)

気候変動により日本でも現在より乾燥が進むと予想される地域があります。乾燥によるスギへの影響と、乾燥に強いスギを選ぶ方法などを紹介します。

2月公開予定

「未利用の森林資源は 見方によっては宝の山！」

松井 直之 (森林資源化学研究領域)

樹木の枝葉や竹材など、これまで利用があまりされていない材料にも、役立つはたらかきは数多くあります。その利用技術をご紹介します。

会場●多摩森林科学園 森の科学館
時間●13時15分～15時

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、講座を中止する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ

〒193-0843 東京都八王子市^{とどろ}市川町1833-81

多摩森林科学園

電話番号:042-661-1121

▶YouTube「森林総研チャンネル」

<https://www.youtube.com/c/FFPRIchannel>



HP: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html>
E-mail: shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp



▲森林講座申込み